

高校生 ICT 2015 Conference

in 福岡

言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！

～ 高校生のボクたちだから ～

開催報告書

2015 年 9 月 5 日（土）13:30-17:00

【会場】パピヨン2 4会議室及びガスホール

主催

福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会

高校生 ICT Conference 実行委員会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省



2015

2015 年 9 月 29 日

第 1.0 版

1. 開催概要	1
2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催	3
3. 高校生 ICT Conference 2015 in 福岡 開催概要	4
4. 主担当	8
5. 高校生 ICT Conference 2015 サミット	9
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会	9
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応	9

1. 開催概要

名 称：	高校生 ICT Conference 2015 テーマ 言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！ ～ 高校生のボクたちだから ～ 第1部「大人のルール&マナー」 第2部「大人が作った子どものルール&マナーを考える」
主催：	● 高校生 ICT Conference 実行委員会 (構成：安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会、一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会) ● 長野教育委員会 (長野のみ) ● 福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会 (福岡のみ) ● 特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム (神奈川のみ)
共催：	内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、大分県教育委員会、大分県高等学校 PTA 連合会、帝塚山大学 (奈良のみ)、神奈川県教育委員会 (神奈川のみ)
後援：	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、全国高等学校情報教育研究会、北海道、北海道教育委員会、北海道高等学校 PTA 連合会、北海道青少年有害情報対策実行委員会、大阪府高等学校情報教育研究会、東京都高等学校情報教育研究会、奈良県、奈良県情報教育研究会、奈良県教育委員会、福岡県公立高等学校長協会、福岡県私学協会、福岡県公立高等学校 PTA 連合会、石川県、石川県教育委員会、石川県高等学校長協会、石川県高等学校 PTA 連合会、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会、北陸携帯電話販売店協会
協賛：	株式会社サイバーエージェント、グーグル株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、グリー株式会社、LINE 株式会社、株式会社ラック、株式会社メディア開発綜研
協力：	アルプス システム インテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、一般社団法人情報教育研究所、デジタルアーツ株式会社、株式会社ミクシィ (順不同)
開催目的：	高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。 高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめ

	る、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。 2015 年度は、より全国的な規模での展開に向けて開催地域を拡大、新たに石川、長野、神奈川、福岡を加え開催します。 さらに当事者たる高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表者はサミットにより提言をまとめ、内閣府、総務省、文部科学省で発表を予定しています。 ※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面実施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。
開催の概要：	【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。 ・第一部 「大人のルール&マナー」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議イントロダクション (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 ・第二部 「大人が作った子どものルール&マナーを考える」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議 (4) グループ発表 (4) 総評 (5) サミット参加者発表 【サミット】「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！」 ～ 高校生のボクたちだから ～ (1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表 【最終報告会】 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」 総務省、文部科学省、経済産業省にて成果・提言報告及び意見交換
各開催地募集人員等：	募集参加生徒 30 名 募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）
参加・参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]

高 校 生 ICT Conference 2015 実行委 員会：	【委員長】 - 米田 謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） 【コアメンバー】 - 齋藤 長行（青山学院大学 株式会社 KDDI 研究所） - 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） - 石田 幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会代表・消費者団体訴訟室長） - 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） - 小城 英子（聖心女子大学） 他、関係者団体、事業者等 【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 齋藤ビル 2 階 TEL：03-3562-8850 FAX：03-3562-1180
--	---

2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生が 2 つのテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

	地域	第 1 回	第 2 回	会場
地域開催	北海道	2015 年 9 月 27 日（日）	2015 年 10 月 18 日（日）	札幌ユビキタス協創広場 U-cala
	石川	2015 年 9 月 13 日（日）	—	金沢商工会議所
	長野	2015 年 9 月 5 日（土）	2015 年 10 月 3 日（土）	松本駅前会館
	東京	2015 年 10 月 11 日（日）	—	東京ユビキタス協創広場 CANVAS
	神奈川	2015 年 10 月 4 日（日）	—	岩崎学園
	大阪	2015 年 7 月 25 日（土）	2015 年 9 月 20 日（日）	① 内田洋行 ②大阪私学会館
	奈良	2015 年 7 月 26 日（日）	—	帝塚山大学 東生駒キャンパス
	福岡	2015 年 9 月 12 日（土）	—	ガスホール
	大分	2015 年 8 月 29 日（土）	—	アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ
サミット		2015 年 11 月 3 日 13:30～17:00		東京ユビキタス協創広場 CANVAS
最終報告会		2015 年 12 月中旬頃		

3. 高校生 ICT Conference 2015 in 福岡 開催概要

概要	高校生、教員、企業関係者など約 70 名の参加者を得て、「大人が作った子どものルール&マナーを考える」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。 【リアル熟議】 主旨説明 高校生 ICT Conference 実行委員会 吉岡 良平 様 高校生 ICT カンファレンスの意義や目的とあわせて本日の流れも紹介しました。 開会の挨拶 文部科学省スポーツ・青少年局青少年課 課長 泉 潤一 様 高校生 ICT カンファレンスの意義及び文部科学省の役割についてもあわせて紹介いただきました。 総務省 九州総合通信局 情報通信部長 小野寺 昭彦 様 総務省の業務の内容紹介とあわせて、e-ネットキャラバンをはじめ、安心・安全な青少年インターネット利用環境の整備の取り組み及び本カンファレンスに期待する点について、お話をいただきました。 第一部 事業者による講演 グリー株式会社 安心安全チーフマネージャー 小木曾 健 様 ルールを作るうえで「必要な知識」や「誤った情報」を排除するテクニックを講演。 「それはスマホ特有の問題なのか?」「子どもだけに起きている問題なのか?」「思い込みだけで是非を判断していないか?」など、実際の事例を交えながら、ルールの実効性を妨げる要因や誤解を事例で確認。 ルールが必要なのは「弊害」が起きているからであって、「弊害」をしっかり見極めれば、良いルールが出来上がるのに、世の中のルールの多くは弊害を見誤り、改善に結びつかずに失敗している。「そもそも何故ルールが必要か」の見極めが重要。 生徒たちのプレゼンでは、この「そもそも」意識が随所に見られ、大変嬉しく思いました。 LINE 株式会社 政策企画室 高橋 誠 様 ルールを考える際、どのように考えればよいかの指針について講演してくださいました。 まず、「悪口を言ってはいけない」という具体例を出し、なぜこのルールを作る必要があるのか、どういう状態だと守られていると言えるか、どうやったら維持できるか、ということについて、をお話くださいました。 そして、インターネットの特徴（公開される、記録される、拡散する等）につい
----	--

でも触れてくださり、インターネットの特徴を踏まえ、ルールを作ることが目的になると思考停止してしまうので、ルールを作る際には『最終的に関係者がどういう状態になればよいか』『ルールを作ることが目的ではなく自ら考え続ける』ということをお話くださいました。、その上で、ルールを決めて実行するだけでなく、ルールを見直す方法も事前に考えておくなど、PDCA サイクルを考えよう、とお話くださいました。

第二部：熟議「大人が作った子どものルール&マナーを考える」

まず、今回のテーマについてのイントロダクションとして、ネット・スマホの利用について～今自分たちの身の回りで起きている問題、困っていること～と題し、

【なぜルール&マナーが必要なのかを考えよう】

【大人に注意されること、よく言われることを思い出してみよう】

【大人は何が目的・心配で注意するのか考えてみよう】

の3点について熟議を開始しました。

高校生たちはメモや付箋紙を活用し、沢山の意見を出し合っています。

そこらいいいよ今回のテーマの「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！～高校生のボクたちだから～」について、さらにパソコンやタブレットなどを使いながらまとめていきました。

大人も夢中になっている、自分でルールを考えられないのが問題、自分たちは使っているうちに自然にルールが出来上がってる、共通のルールは無理、自分たちにあったルールをつくれればいいなど、沢山の意見が出ました。

また企業の方もサポーターとして入っていただきました。専門的な質問が出るとすばやく答えてくださいました。ファシリテーターは福岡県立大学の学生、書記は子どもねっと会議所の方が担当し、事前にフォームやまとめ方を打ち合わせして、滞りなくまとめることができました。

第三部：グループ発表

発表のまとめ後、別会場で同時開催されている「青少年のネット利用を考えるフォーラム」に移動し、各グループ3分程度の発表を行いました。

「ネットは現実と同一と捉えて対処する」

「画一的なルールは非現実的、状態に応じて各自でルールを設ける」

「大人でも、誰もが SNS に書いた内容を持って町中を歩けるとは限らない、つまり大人も不適切な内容を書いているのだ」

「学校が社会に役立つ人間を育てる場であるのなら、IT 機器を規制するのではなく、活用出来る人材を育てるべき、一緒によいネット社会を作っていきましょう」など、大勢の大人の前でグループごとに堂々とプレゼンしてもらいました。

その後、引率の先生と各校の生徒代表が集まり、東京サミットに行く代表校の選定投票を行いました。

選定の間に福岡県青少年課の三島係長より子どもたちをネットトラブルから守る

	ための取組みについてご紹介がありました。 その後、代表校の発表をし、挨拶してもらいました。 全体講評 子どもねっと会議所 代表 井島 信枝 様 以下コメントをいただきました。 「事業者の方の講話や熟議を通して、彼らが青少年のネット問題の当事者意識が高まり、我々大人にも新たなヒントを提示してくれた事が大きな成果だと思う。 インターネット社会はまだまだ未成熟な文化で、これからより人々の生活を豊かに、便利に、楽しくしていくものになるか、悪と欺瞞に満ちた汚れた社会になってしまうかはネットを使う一人ひとりの意識にかかっている。 今日の高校生の声を聞いて、彼らは今後より年少の子どもにも手本となる、良識あるネットユーザーに成長してくれるであろうと確信し心強く感じた。 我々大人は「子どもの方が先んじていて口出しできない」と尻込みせず、ネットの中で不適切な場面に遭遇した際きちんと判断できる子どもの「心」を育てること、子どもが悩みや問題を抱えた時にネットの中に逃げ込まなくて済むよう、本気で力になりたいと思っている大人がそばにいるという姿を見せていこうではないかと会場に呼びかけた。」
参加校：	福岡県立博多青松高校、那珂川町立福岡女子商業高等学校、福岡県立福岡中央高校 学校法人東福岡学園東福岡高等学校、学校法人博多学園博多高等学校、学校法人沖学園沖学園高等学校、福岡県立福岡高等学校、福岡県立城南高等学校、福岡県立修猷館高等学校、福岡県立香椎高等学校
日 時：	2015 年 9 月 12 日（土）12:30-17:00
場 所：	パピヨン 2 4 会議室及びガスホール 福岡県福岡市博多区千代 1 丁目 1 7-1
参加人数：	熟議参加生徒 33 見学者・関係者 38 人（教員・教育関係者・その他） 合計：71 人
熟議グループ：	熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。（敬称略） 【グループ 1】パンプキンとゆかいな仲間たち 6 名 学校法人東福岡学園 東福岡高等学校 3 年 男子 福岡県立城南高等学校 2 年 女子 学校法人沖学園 沖学園高等学校 2 年 男子 福岡県立福岡中央高校 2 年 男子 福岡県立博多青松高校 3 年 男子 那珂川町立福岡女子商業高等学校 2 年 女子 〔ファシリテーター〕 福岡県立大学 尾方 恵梨子 〔書記〕 子どもねっと会議所 原 加代子

【グループ2】 6名

学校法人東福岡学園 東福岡高等学校 3年 男子

那珂川町立福岡女子商業高等学校 2年 女子

福岡県立香椎高等学校 2年 女子

学校法人博多学園 博多高等学校 2年 女子

福岡県立博多青松高校 1年 男子

学校法人沖学園 沖学園高等学校 2年 男子

〔ファシリテーター〕

福岡県立大学 中尾 くる美

〔書記〕

子どもねっと会議所 橋本 晴子

【グループ3】 5名

福岡県立福岡高等学校 3年 男子

福岡県立修猷館高等学校 1年 女子

福岡県立博多高等学校 2年 女子

福岡県立博多青松高校 1年 男子

学校法人東福岡学園 東福岡高等学校 2年 男子

〔ファシリテーター〕

福岡県立大学 松本 美和子

〔書記〕

子どもねっと会議所 田染 美穂子

【グループ4】 6名

福岡県立博多青松高校 3年 女子

福岡県立香椎高等学校 1年 女子

福岡県立博多高等学校 2年 男子

福岡県立修猷館高等学校 1年 女子

福岡県立福岡高等学校 2年 男子

福岡県立福岡中央高校 2年 女子

〔ファシリテーター〕

福岡県立大学 丸山 佳子

〔書記〕

子どもねっと会議所 二宮 佳代子

【グループ5】 5名

福岡県立香椎高等学校 2年 女子

学校法人博多学園 博多高等学校 1年 男子

福岡県立福岡中央高校 2年 女子

福岡県立修猷館高等学校 1年 男子

	福岡県立福岡高等学校 3年 男子 〔ファシリテーター〕 福岡県立大学 吉田 栞 〔書記〕 子どもねっと会議所 小島 公子 【グループ6】～チーム藤井～ 5名 福岡県立香椎高等学校 2年 男子 福岡県立修猷館高等学校 2年 男子 福岡県立城南高等学校 2年 女子 学校法人博多学園 博多高等学校 1年 男子 福岡県立福岡高等学校 2年 男子 〔ファシリテーター〕 福岡県立大学 藤井 春奈 〔書記〕 子どもねっと会議所 幾尾 恭子
--	---

4. 主担当

福岡県 新社会推進部青少年課	三島、白水 他	全体調整、ファシリテーター・書記手配、庶務、受付
安心ネットづくり促進協議会	吉村、白戸 他	事務局、庶務
草の根サイバーセキュリティ運動 全国連絡会	吉岡	司会、庶務、受付
子どもねっと会議所	井島 他	記録
福岡県立大学	大学生	ファシリテーター
各地力団体、事業者、大学等		講演、ノベルティ、資料提供 他

(開催後の予定)

5. 高校生 ICT Conference 2015 サミット

高校生 ICT Conference 2015 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

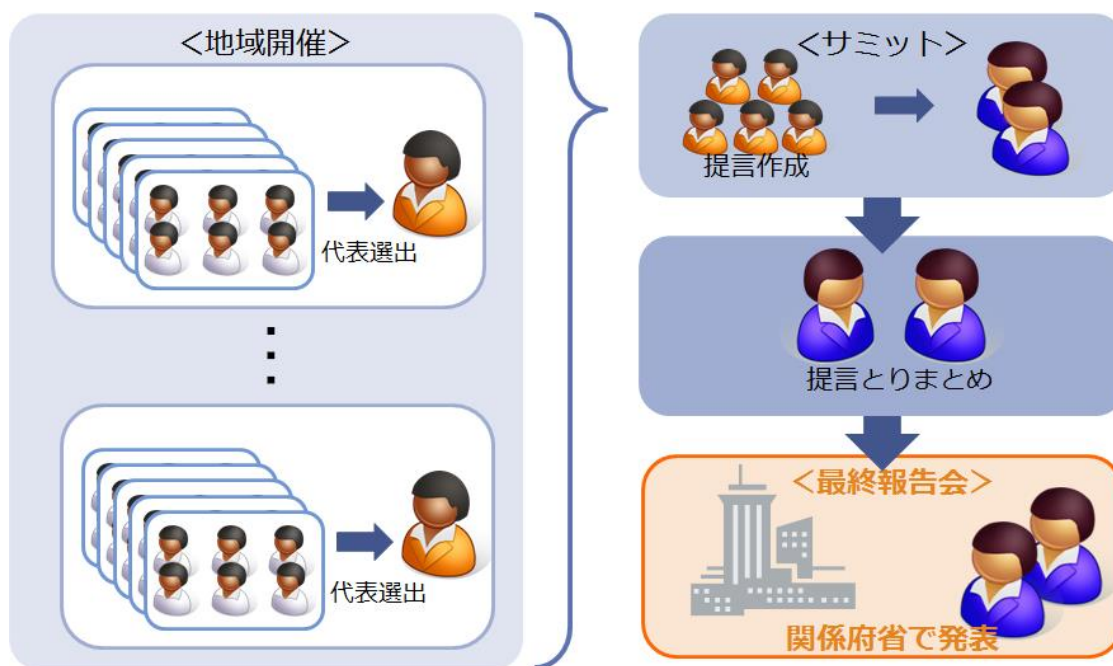
- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 終了後、各校の引率教職員と参加校代表生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表 2 名を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2015 サミットで検討された提言を、選出された代表者 2 名が報告用にとりまとめを行い、関係府省にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを語る。

【報告先予定府省】

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表の画面の撮影（又は画像保存）
- 2) Conference 終了後、発表の画像と併せて高校生 ICT Conference 2015 のサイトにアップデート
- 3) 終了後、講評と併せて、各会場責任者にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2015 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 5) 高校生 ICT Conference 2015 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 6) 最終報告会での発表